

第1回四国リンパ浮腫治療懇話会案内

—リンパ浮腫診療の保険適応と四国各県の現状—

日時：2008年7月27日（日） 13：00-16：30

場所：四国がんセンター 3階研修室

http://www.shikoku-cc.go.jp/NSCC_HP/index.html

対象：医療者（医師、看護師、その他のコメディカル、学生）

参加費：医師1,000円 コメディカル500円 学生 無料

駐車料金：1日1000円

13：00-13：15：代表世話人 挨拶

—四国リンパ浮腫懇話会発足の経緯—

徳島大学名誉教授 真泉会第一病院名誉院長 加藤逸夫

13：15-15：00：

パネルディスカッション 司会 四国がんセンター 形成外科 河村進

四国各県のリンパ浮腫診療の現状 （各20分総合討論25分）

1. 香川県

当科におけるリンパ浮腫に対する取り組み

香川大学医学部形成外科¹香川大学医学部外科²

○田中嘉雄¹、岡田真衣子¹、宗内巖¹、佐野法久¹、宮村卓¹、小田敦司¹、岸川由佳¹、木暮鉄邦¹、吉原章子²

これまで我々は、マイクロサージャリーによるリンパ管静脈吻合や adipo-lymphatico venous transfer を行ってきたが、必ずしも良好な結果が得られないことから積極的には行い難い現状である。

当科では昨年よりリンパ浮腫専門外来を新設し、経時的な浮腫の評価・保存的治療やリンパ浮腫セラピストである看護師の協力を得て生活指導を中心とした治療を行っている。今回は専門外来の現状と、良好な治療効果が得られた症例を提示する。

2. 徳島県

当院とがん拠点病院とのリンパ浮腫治療にあたっての連携

医療法人 リムズ徳島クリニック

○ 小川佳宏

リンパ浮腫は、周術期の患者への指導や発症早期からの治療が重要である。適切に指導・治療を行うためには、まず医療従事者への教育が必要と考え、徳島県内のがん拠点病院に働きかけ、昨年12月から当院で複合的理学療法について講義・実習を行っている。また、「リンパ浮腫指導管理料」の算定要件を満たすような患者説明用のパンフレットの作成や、リンパ浮腫治療用の連携パスの作成も考えている。今回その実際について報告する。

3. 高知県

高知県におけるリンパ浮腫診療の現況

医療法人静かな凜脈の会 まつもとデイクリニック

○松本康久

高知県でのリンパ浮腫診療の実態を把握することは現状では難しい。しかし、リンパ浮腫患者の訴えから以下のような問題点があると思われた。①リンパ浮腫との明確な診断が行われていない場合がある②弾性着衣による圧迫療法が行われていない場合が多い③蜂窩織炎で安易に入退院を繰り返している場合がある④機械的四肢圧迫装置による治療が多い。今回、高知県での現況と問題点について検討し報告する。

4. 愛媛県

a. 真泉会第一病院におけるリンパ浮腫治療の実際

真泉会第一病院 むくみ治療室セラピスト¹ 名誉院長² 理事長³

○宇野千春¹ 加藤逸夫² 曾我部仁史³

真泉会第一病院では、平成16年4月より「むくみ治療室」を開設し、主にリンパ浮腫の患者に対し、専門医師・セラピストが診療に当たっている。

完全予約制で1人あたり、約1～2時間の時間を取り、入院、又は外来通院にて集中的、継続的に1日4～6人の複合的理学療法を行っている。

これまでに、250名の診療を行ってきた。

今回は、当院での受け入れ状況、治療内容や治療成績について報告をする。

b. 四国がんセンターにおけるリンパ浮腫診療の取り組みと現状

四国がんセンター 看護部¹ 形成外科² 婦人科³

○大西ゆかり¹、西岡久美¹、中岡初枝¹、浅野尚美¹、河村進²、横山隆³

四国がんセンターでは平成 16 年 4 月にリンパ浮腫外来を開設し、複合的理学療法に基づいた患者指導を中心に外来診療を行っている。

平成 19 年度の外来受診患者数は 900 名にのぼり、がん治療後のリンパ浮腫に対するケアのニーズはきわめて高いといえる。

4 年間の外来の活動状況及び医療リンパドレナージセラピストとしての取り組みについて報告する。

休憩 10 分

15 : 10-16 : 20

特別講演

司会：香川大学形成外科 田中嘉雄

「リンパ浮腫治療の保険適応を受けて」

リンパ浮腫治療研究会代表世話人 松尾循環器科クリニック 松尾汎先生

抄録

平成 20 年度診療報酬改定において、リンパ浮腫に関する事項（早期からのセルフケア指導，弾性着衣・弾性包帯の「療養費」支払い）が一部実現された。従来の放置状態を改め、リンパ浮腫を周知する契機にはなったが、その認定内容や対象および現状の診療体制には多くの課題がある。さらに、浮腫を軽減し、良好な状態を維持するには、「複合的理学療法全体を包括した認定」とその診療体制の構築が必須であろう。現在までの歩みと今後の課題について報告する予定である。

質疑 10 分

16 : 30

閉会の挨拶 第 1 回世話人 河村進

主催：四国リンパ浮腫懇話会

後援：テルモ